

# 災害派遣職員レポート

No.9 H23.5.6

5月1日より2週間の予定で岩手県に派遣した えびな南高齢者施設 松下美知恵職員から報告をいただきました。デイサロンは被災高齢者の介護拠点になると思います。立ち上げがうまく進むことを祈ります。

私は今山田町にてボラセンの受付業務やニーズ調整、後は保育園の被害状況調査をしています。今後はデイサロンなどの立ち上げに関わっていくかもしれません。個々の説明は長いので後日改めて報告します。山田町は震災直後、沿岸部が火災に見舞われ報道が激しかった地区です。街中を歩くと焼け跡のある家や炭化した木が生え残っていたりしています。それ以上に、反転した車や屋根の上に乗りに上げてしまった船、ひん曲がった標識にいつまでもつかない信号機、すべてが目を疑う光景ばかりです。写真は沿岸部の風景です。



5月4日から2週間の予定で気仙沼で活動している、中心荘 井本博之職員より「我々は頑張っていますので安心してください。」と、元気いっぱいの報告をいただきました。

本日は、リーダー業務+フリー番で動きました。朝5時から一日が始まり、排泄、食事、投薬の介助がメインです。要介護度は1から2程度の方々が対象です。お1人寝たきりの方がいますが、奥様が看護師なので付きっきりで介助されています。移乗の時のみ声がかかり、我々が手伝っています。

土曜日は、週1回のシャワー浴ができる日で、皆さん楽しみにしています。また、希望者だけですが、<こころの診療所>の診察があり、その介助もします。(ボランティアの医師が定期的に来られるのだそうです。)避難所では寝袋で休んでいます。食事は3食炊き出しの食事を食べています。